

溶接事業者検査の実施状況に関する調査結果の概要について

1. 調査方法

(財)発電設備技術検査協会(以下、「発電技検」という。)を協力事業者として実施した溶接事業者検査について、検査項目を定めている溶接事業者検査計画書と検査項目ごとに検査実績を管理している工程管理記録を照らし合わせる等、検査漏れがないことの確認を実施した。

2. 調査対象

発電技検を協力事業者として実施した溶接事業者検査である、平成15年10月以降、平成23年度第3四半期(10月、11月、12月)の溶接安全管理審査の最終審査が終了した溶接事業者検査を対象とした。

3. 調査結果

玄海原子力発電所1～4号機及び川内原子力発電所1、2号機において調査を行った結果、玄海4号機タービン関係の取替用蒸気配管の溶接後熱処理検査を除き、いずれも溶接事業者検査計画書に定められた検査項目に漏れはなく、工程管理記録に検査漏れにつながるような修正がないことを確認した。

溶接事業者検査の実施状況調査結果

	申請件数 ¹	溶接継手数	検査の未実施項目及び不適切な誤記修正数
玄海原子力発電所	15	725 ²	0
川内原子力発電所	20	1652	0

- 1：あらかじめの溶接事業者検査³である溶接施工法検査(玄海1件)及び溶接士検査(玄海2件、川内4件)の申請を含む
- 2：玄海4号機タービン関係の取替用蒸気配管の溶接継手数(2)を除く溶接継手数を記載
- 3：技術基準適合性が確認されていない溶接施工法や溶接士の技能の適切性に対して、溶接を実施する前までに、原子力発電設備の設置者が実施する検査

以上